

## 第53回消防救助近畿地区指導会における熱中症対策について

### ～熱中症ゼロの大会を目指して～

令和7年6月1日、労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策の強化が義務付けられました。これに伴い、本大会では、熱中症の予防および重篤化を防ぐため、「熱中症（疑い）が発生した場合の対応要領」を作成しました。また、下記の取り組みを通じて、安全・安心のある大会運営を進めてまいります。

#### 【ご来場のみなさんに やさしい取り組み】

##### ○いつでも水分補給

- ・ マイボトルに水を無料で給水できるウォータークーラー6台をクールスポットに設置。
- ・ 飲料水の販売  
サントリー株式会社（2,700本）・キッチンカー5台・自動販売機3機

##### ○クールスポットで涼しく

- ・ 消防学校内にクールスポットを2カ所設定（300名収容可能）し、冷房のきいた涼しい屋内で身体を休めることができます。

##### ○“涼”を感じる空間演出

- ・ 会場警備スタッフがジェットシューター（林野火災現場で活用されている背負い式消火装置）による打ち水による涼を提供しながら、会場を巡回します。打ち水します。
- ・ 水を使った防災イベント（消防車による自己噴霧放水）で、学びながら熱中症を予防します。

#### 【選手やスタッフに やさしい取り組み】

##### ○選手ファーストの大会運営

- ・ 式典の簡略化を実施。

##### ○いつでも水分補給ができる体制

- ・ 訓練前の隊員招集場所への飲料持参を可能に。
- ・ スタッフに保冷ペットボトルホルダー配布し、いつでも飲料が飲める体制を整備。

##### ○新たな熱中症対策資器材の導入による安全な環境を整備

- ・  $-79^{\circ}\text{C}$ の冷却効果が3時間継続するドライアイスを用いた冷却ジャケット（ENEOSアメニティ株式会社ご提供）を、屋外のスタッフに提供。酷暑下でも安全・快適な環境を提供。